

おいしさと健康



第111期

報 告 書

[平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念 おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の歓びを、
生命の輝きを

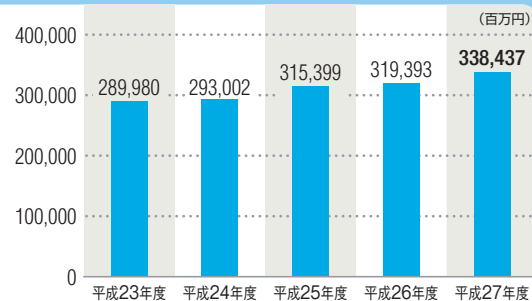
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

C O N T E N T S

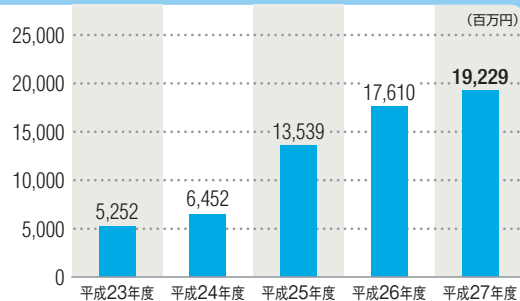
株主の皆様へ	2
セグメント別の概況(連結)	3
連結決算の状況	5
2017年3月期の重点取り組み	7
ニュース	9
グリコの歴史シリーズ	10
トピックス 新製品のご紹介	11
会社の概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種お手続きについて	18

財務ハイライト | 連結

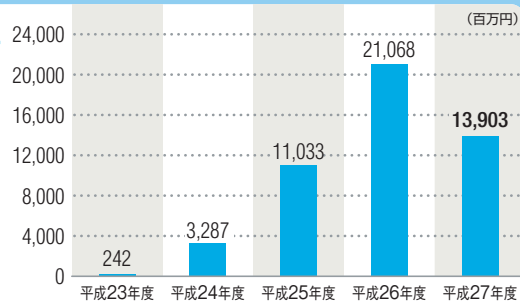
売上高



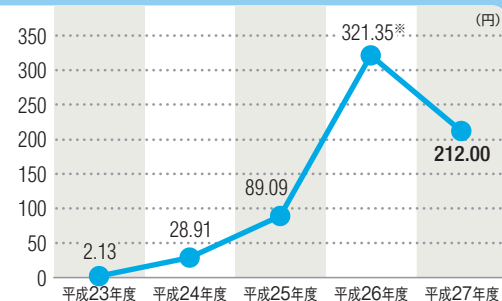
経常利益



親会社株主に 帰属する 当期純利益



1株当たり 当期純利益



※平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第111期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にある中、景気は緩やかな回復基調に入ったと言われています。一方で、中国を始めとする新興国での景気減速や米国の金融政策の動向等によって、景気の下振れが懸念され、依然として不透明な状況で推移しました。食品業界におきましては、円安による原材料価格の上昇が影響するなど、当社グループを取り巻く経営環境は一段と厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開しました。また、より一層の競争力強化を図るべく、当社の完全子会社であるグリコ乳業株式会社を平成27年10月1日付で合併しました。

その結果、売上面では、食品部門は前年同期を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当連結会計年度の売上高は338,437百万円となり、前連結会計年度(319,393百万円)に比べ6.0%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、販売品種構成の変化や

取締役社長

北崎 勝久



増収による固定費率の低下等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、製品在庫の増加や販売品種構成の変化によって運送費及び保管費率がアップし、量販店店頭での販売対策の実施やテレビ広告の増加等によって、販売促進費及び広告宣伝費等も増加しました。その結果、営業利益は17,110百万円で、前連結会計年度(14,247百万円)に比べ2,863百万円の増益となり、経常利益は19,229百万円で、前連結会計年度(17,610百万円)に比べ1,618百万円の増益となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は13,903百万円となり、東京の工場跡地譲渡に伴う固定資産売却益等を特別利益に計上した前連結会計年度(21,068百万円)に比べ、7,165百万円の減益となりました。

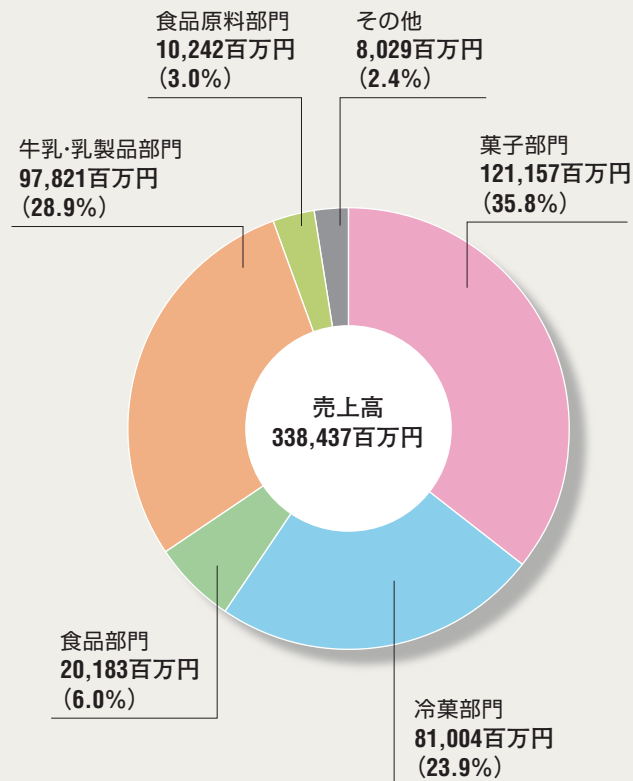
なお、配当金については、中間配当(1株につき20円)に加え、1株につき20円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなってきておりますが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

セグメント別の概況 連結

●セグメント別売上高とその割合



菓子部門

121,157百万円
前年同期比6.5%の増収



売上面では、国内は“ビスコ”「ポッキーグループ」“バンホーテン チョコレート”“神戸ローストショコラ”等が前年同期を上回りました。海外では、中国の子会社が前年同期を大きく上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は121,157百万円となり、前年同期(113,757百万円)に比べ6.5%の増収となりました。

冷凍部門

81,004百万円
前年同期比9.7%の増収



売上面では、主力の“バピコ”“アイスの実”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。また、卸売販売子会社の売上も前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は81,004百万円となり、前年同期(73,808百万円)に比べ9.7%の増収となりました。

食品部門

20,183百万円
前年同期比9.5%の減収



売上面では、“クレアシチュー”が前年同期を上回りましたが、“熱カレー”“カレー職人”等は前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は20,183百万円となり、前年同期(22,313百万円)に比べ9.5%の減収となりました。

食品原料部門

10,242百万円
前年同期比8.2%の増収



売上面では、“A-グル”「ファインケミカル」等が前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は10,242百万円となり、前年同期(9,463百万円)に比べ8.2%の増収となりました。

牛乳・乳製品部門

97,821百万円
前年同期比3.6%の増収



売上面では、“朝食BifiXヨーグルト”“プッチンプリン”等が前年同期を上回り、キリンビバレッジ(株)の“トロピカーナエッセンシャルズ”が増収となりました。また、「粉ミルク」がインバウンド需要を取り込んで、売上を大きく伸ばしました。その結果、当連結会計年度の売上高は97,821百万円となり、前年同期(94,389百万円)に比べ3.6%の増収となりました。

その他部門

8,029百万円
前年同期比41.9%の増収

売上面では、オフィスグリコ及び健康部門(旧スポーツフーズ部門を含む)がいずれも前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は8,029百万円となり、前年同期(5,659百万円)に比べ41.9%の増収となりました。

連結決算の状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)		前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
I 流動資産	132,322	131,335	I 流動負債	78,729	76,795
現金及び預金	37,110	50,941	支払手形及び買掛金	29,564	28,396
受取手形及び売掛金	33,078	35,113	短期借入金	7,621	5,218
有価証券	29,248	11,395	1年内返済予定の長期借入金	4,000	501
商品及び製品	11,060	12,451	未払費用	22,121	25,107
仕掛品	859	865	未払法人税等	5,401	2,179
原材料及び貯蔵品	13,144	13,578	販売促進引当金	1,509	1,675
前渡金	706	657	役員賞与引当金	44	41
前払費用	247	156	BIP株式給付引当金	—	56
短期貸付金	91	108	ESOP分配引当金	—	1,366
繰延税金資産	2,246	2,563	その他	8,468	12,253
その他	4,606	3,556	II 固定負債	21,734	19,027
貸倒引当金	△78	△54	長期借入金	1,343	501
II 固定資産	142,979	143,639	退職給付に係る負債	10,281	10,927
(有形固定資産)	72,707	82,577	事業構造改善引当金	105	—
建物及び構築物	22,374	22,489	繰延税金負債	5,176	3,104
機械装置及び運搬具	28,271	28,379	その他	4,828	4,494
工具、器具及び備品	3,909	3,557	負債合計	100,464	95,822
土地	13,933	15,711	[純資産の部]		
リース資産	446	415	I 株主資本	153,198	163,968
建設仮勘定	3,771	12,025	資本金	7,773	7,773
(無形固定資産)	3,203	4,053	資本剰余金	7,484	7,816
ソフトウェア	1,939	2,365	利益剰余金	144,566	155,190
その他	1,264	1,687	自己株式	△6,626	△6,811
(投資その他の資産)	67,068	57,008	II その他の包括利益累計額	16,114	9,623
投資有価証券	47,534	37,922	その他有価証券評価差額金	11,875	7,949
長期貸付金	334	1,142	為替換算調整勘定	4,281	2,646
長期前払費用	143	141	退職給付に係る調整累計額	△42	△973
退職給付に係る資産	2,746	1,963	III 非支配株主持分	5,526	5,560
投資不動産	12,402	12,402	純資産合計	174,838	179,151
繰延税金資産	810	406	負債純資産合計	275,302	274,974
その他	3,152	3,080			
貸倒引当金	△57	△52			
資産合計	275,302	274,974			

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (26.4.1~27.3.31)	当連結会計年度 (27.4.1~28.3.31)
I 売上高	319,393	338,437
II 売上原価	177,782	183,904
売上総利益	141,610	154,533
III 販売費及び一般管理費	127,363	137,422
営業利益	14,247	17,110
IV 営業外収益	4,370	4,112
V 営業外費用	1,008	1,993
経常利益	17,610	19,229
VI 特別利益	13,523	1,816
VII 特別損失	20	83
税金等調整前当期純利益	31,113	20,962
法人税、住民税及び事業税	7,312	6,272
法人税等調整額	1,825	325
法人税等合計	9,137	6,598
当期純利益	21,975	14,364
非支配株主に帰属する当期純利益	907	461
親会社株主に帰属する当期純利益	21,068	13,903

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (26.4.1~27.3.31)	当連結会計年度 (27.4.1~28.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,520	17,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,876	△13,773
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,202	△10,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,740	△1,218
現金及び現金同等物の増減額	5,180	△7,395
現金及び現金同等物の期首残高	54,225	59,406
現金及び現金同等物の期末残高	59,406	52,010

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

(単位:百万円)

	株 主 資 本					そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 金 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計			
当期首残高	7,773	7,484	144,566	△6,626	153,198	16,114	5,526	174,838
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△3,279		△3,279			△3,279
親会社株主に帰属する当期純利益			13,903		13,903			13,903
自己株式の取得				△19	△19			△19
自己株式の処分		118		47	166			166
信託への自己株式譲渡		213		81	295			295
信託からの自己株式譲受				△295	△295			△295
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△6,491	34	△6,456
連結会計年度中の変動額合計	—	331	10,623	△185	10,769	△6,491	34	4,313
当期末残高	7,773	7,816	155,190	△6,811	163,968	9,623	5,560	179,151

2017年 3月期の重点取り組み

2017年3月期の計画

国内事業

※1 出典：インテージSRI

※2 出典：アイスクリーム流通新聞

カテゴリー	市場環境／事業環境の認識	2017年3月期の施策
チョコレート	市場規模 13年度 2,568億円 → 15年度 2,770億円※1 地位 業界3位 チョコレートに対する消費者の健康志向が高まっている	●主力ブランド強化 「ポッキー」「カプリコ」「神戸ローストショコラ」などの主力ブランド強化 ●既存ブランド育成 「ピーク」「ビット」「バンホーテン」などの既存ブランドの育成に注力  ポッキー  ピーク ●健康訴求チョコレートのプレゼンス向上 チョコレートに対する健康志向が高まる中、健康訴求チョコレートのプレゼンス向上に尽力
ビスケット	市場規模 13年度 1,440億円 → 15年度 1,532億円※1 地位 業界6位	●主力ブランド強化 「ブリッツ」「ビスコ」「コロン」などの主力ブランド販売強化に注力  ブリッツ ●既存ブランド再生 「チーザ」「クラッツ」などのおつまみスナックのマーケティング策を講じ、売上回復に尽力  チーザ
冷菓	市場規模 13年度 4,360億円 → 15年度 4,630億円※2 地位 業界2位 ・冬場のアイスクリームの販売が拡大傾向 ・製品の高付加価値化	●主力ブランド強化 「ジャイアントコーン」「バビコ」「セブンティーンアイス」などの主力ブランド強化  ジャイアントコーン ●既存ブランド育成 「バナップ」「アイスの実」「牧場しほり」などその他の既存ブランドの育成  バナップ ●マーケティング策の実行 下半期黒字化を目指し、マーケティング策を講じる ●新工場の安定稼働に注力 千葉県に建設中の新工場(2017年2月に生産開始予定)の安定稼働に向けての取り組みに注力
発酵乳／牛乳・乳飲料	市場規模 ■発酵乳 13年度 3,426億円 → 15年度 3,841億円※1 地位 業界5位 ■牛乳・乳飲料 地位 業界4位	●カテゴリーマネジメントの浸透 カテゴリーマネジメントのさらなる浸透によって収益管理を推進 〈発酵乳〉 ●主力ブランド強化 「BifiXシリーズ」全品を機能性表示食品としてリニューアル。機能訴求によって販売強化  BifiX 〈牛乳・乳飲料〉 ●主力ブランド強化 「カフェオーレ」シリーズを中核ブランドとして資源を投入  カフェオーレ
洋生菓子	市場規模 13年度 701億円 → 15年度 656億円※1 地位 業界2位	●主力ブランド強化 「ブッチンプリン」などの主力ブランド強化に注力 ●ブランド再生 「ドロリッチ」のブランド再生に尽力  ブッチンプリン  ドロリッチ

グリコグループが2020年の目標達成に向け、重要な取り組みに掲げている「強い商品カテゴリーの創出」と「積極的な海外展開」について2017年3月期の計画と重点取り組みをご紹介します。

2017年3月期の計画

海外事業

■アイスクリーム事業の進捗 タイ、インドネシアでアイスクリーム事業を推進・定着を目指しています。

タイ

- 2016年1月、「ジャイアントコーン」「パリッテ」「パナッ」「セブンティーンアイス」の4ブランドのアイスの販売を開始しました。テレビや新聞に取り上げられるなど、好評を博しています。



現地ポスター▶



インドネシア

- Glico-Wingsが現地当局の認可を取得し、2016年度中に生産開始できる見込み。



中国

■内陸部の開拓・深耕

重慶、済南などの1級都市を重点都市とし、加えて南寧、石家庄などの2級都市にも人材を投入し、販路開拓を加速させていきます。

■ブランドエクイティーの強化

- 「超細ポッキー」を中心にブランドエクイティーを強化します。
- 2016年6月には新製品「焙香ブリッツ」を発売します。
- 主力ブランドの1つである「プジョイ」に広告を投入し、強化を進めます。



超細ポッキー

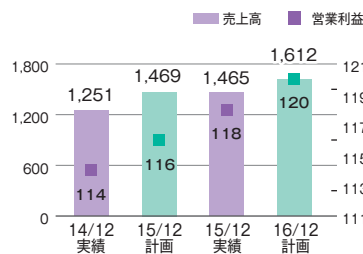


焙香ブリッツ

■EC販売店舗を開設

EC販売店舗を天猫(T-mall ティモール)に開設します。

■売上高・営業利益(単位:百万円)



タイ

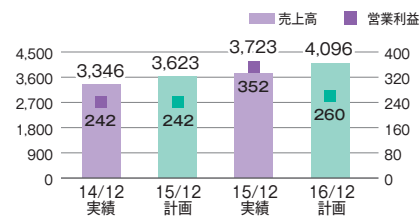
■首都圏での市場深耕と地方での市場拡大

バンコクエリアでの市場深耕と地方部での市場拡大を狙います。



左より、バレンタイン用、冷やして楽しむ、Pocky Day用各種ポッキー

■売上高・営業利益(単位:百万バツ)



グリコのアイス、遂に海外へ (タイアイス事業開始)

これまでグリコのグローバル商品と言えばポッキーとブリッツなど菓子が中心でしたが、2016年1月、遂にアイスがその仲間入りを果たしました!

その、海外でのアイス事業の第一歩はまずはタイ王国において、「ジャイアントコーン」「バリッテ」「パナップ」「セブンティーンアイス」の4つのブランド、合計8種類のアイスを発売しました。

2016年1月19日に現地マスコミや人気ブロガーを招いて実施した発表会は、とても盛り上がりました。

海外でのアイス事業の展開にも、ご期待ください。



ジャイアント
コーン

バリッテ

パナップ

「あなたが笑うと、世界は変わる。smile.Glico」

世界中に笑顔の人をふやしたい。そしてあなたの一生にも笑顔をふやしたい。そんな想(おも)いを胸にグリコは毎日おいしさと健康を届け続けています。「あなたが笑うと、世界は変わる。smile.Glico」をメッセージとし、TVCMにも登場しているお菓子(グリコ)の化身である「ハグハグ」が、全国各地でみんなを笑顔にしています。

今後もより多くの皆さまにグリコの想いを伝え、笑顔になってもらい、そしてグリコを好きになってもらう活動を継続していきます。ハグハグの活動はホームページの他Twitterでも公開中ですので、ぜひアカウントをフォローください。

Twitter @hughugdesu



ハグハグ

あなたが笑うと、世界は変わる。

smile. *Glico*

「機能性表示食品LIBERA(リベラ)が 日本チェーンドラッグストア「会長賞」受賞!

LIBERA(リベラ)は、チョコレートで初めての機能性表示食品です!

チョコ本来のおいしさそのままに、脂肪と糖の吸収を抑える食物繊維の難消化性デキストリンを加えたチョコレートです。

チョコレートは好きだけど、脂肪や糖が気になるという方は是非おためしください。



LIBERA(リベラ)

変わらぬおいしさ Since1979 「カフェオーレ」

「本格的でお洒落なコーヒーを飲む」というライフスタイルを時代に先駆けて提案した「カフェオーレ」。発売から37年を経た今も、多くの人を和ませ続けています。

時代を切り開いた「本格スタイルコーヒー」

「カフェオーレ」の誕生は、1979(昭和54)年。自家焙煎やドリップ抽出のコーヒーを楽しむ人が一握りしかいなかった時代に、「誰もが手軽に本格的なコーヒーを、いつでもどこでも飲めるスタイル」を提案したいと考えたグリコ。当時主流だった細長い缶コーヒーとは一線を画し、独特の台形型をした「缶よりスタイリッシュな紙容器(paper can：通称P-キャン)」を生み出しました。「時代の一足先を行くお洒落なコーヒーを飲む」というライフスタイルを提案した「カフェオーレ」は、流行に敏感な若者に瞬く間に広がり、多くの人をワクワクさせました。

ドリップ製法が生み出すおいしさの方程式

食品のおいしさは原材料で決まる。そう考えて、当時はブルーマウンテン珈琲豆を毎朝焙煎して即座にドリップし、充填までを一貫生産できるシステムを開発。珈琲の香りや乳の劣化を防ぐ包材にもこだわって、消費者が納得する「美味しいコーヒー」を徹底的に追及しました。カフェオーレ独自の“まるやかなミルクと、ていねいにドリップしたコーヒーとの一体感”は今も受け継がれています。

業界初のオリジナルストロー添付

1990(平成2)年に系列品「マイルドカフェオーレ」を発売し、ブランド売上はその後の4年間で約2倍に成長しました。1998(平成10)年には、他社に先駆けてオリジナルストローを開発し、商品に貼付。レジで店員さんがストローを手渡しするスタイルを一変してお客様の利便性を向上させ、大ヒットとなりました。「ストローで気軽に飲める本格的コーヒー」は37年を経た今、「ホッと一息つける優しいおいしさのコーヒー」として唯一無二の存在となっています。

いつも横にいて、ホッと一息できるコーヒー飲料へ

2016(平成28)年のテーマは「3時のひとゆるみ」。「カフェオーレ」の「親しみやすさ」と「ホッと一息つけるおいしさ」を多くの方に伝えるため、一貫したブランドメッセージを発信していきます。「カフェオーレ」と過ごすひとときが皆様の笑顔につながるようにこれからもさまざまなアイデアを生み出していきます。



2016

カフェオーレ
の歴史

1979



1998



2007



2009



健康事業

飲むアーモンドの健康 アーモンド効果 1000ml新登場!

【アーモンド効果 1000ml】

たっぷり*1のビタミンE(1日分*2)と食物繊維入り!硬いアーモンドを細かくすりつぶした、滑らかで香ばしいアーモンドミルクです。コレステロール0です。また、常温保存可能です。

◎牛乳・豆乳ではありません。

※1コップ1杯(200ml)あたりアーモンド5.2g使用(「カロリーLight」は5.0g)。

※2「日本人の食事摂取基準(2015年版)」より



発酵乳

高濃度ビフィズス菌飲料BifiX1000

【BifiX1000】

生きて届くだけでなくおなかで増えるビフィズス菌BifiX(ビフィックス)が高濃度につまったビフィズス菌飲料。ビフィズス菌BifiXがお通じを改善することが報告されており、4月4日から機能性表示食品としてリニューアルしました。口当たりまろやかでさわやかな後味で、おなかの調子をすっきり整えた方におすすめの商品です。

<機能性表示食品 届出番号A170>



【届出表示(抜粋)】

ビフィズス菌BifiXは生きて腸まで届き、増殖することで、腸内環境を改善し、便通・お通じを改善することが報告されています。

アイクレオ

1歳頃(奥歯の生えはじめた) からのお子様に

[1歳からの幼児食]

〈野菜マーボー丼〉〈ひじき入り豚汁〉

〈鮭と豆乳のクリームシチュー〉

「1歳からの幼児食」は咀嚼練習期に十分配慮した具の大きさや形・固さに、味覚形成期に配慮したうす味仕上げのレトルト食品です。

- ①咀嚼練習に適した具の大きさ、形、固さ
- ②味覚形成に配慮したうす味
- ③10種類の野菜とカルシウム、鉄入り
- ④着色料、保存料、香料、化学調味料 不使用

鉄分・亜鉛を中心に栄養素を 摂取したい方に

[毎日ビテツ]〈オレンジ〉

1日分の鉄・亜鉛を中心に、葉酸、カルシウム、食物繊維、ビタミンCの栄養素をおいしく補給できる飲料です。「栄養機能食品(鉄・亜鉛)」

オレンジ果汁30%配合。甘みと酸味のバランスをとり、毎日続けられる美味しさを目指しました。



スイーツショップ バトンドール

おもてなしを彩る ウエルカムスティック

〔バトンドール〕

〈〔ミルク〕クール〉〈〔夕張メロン〕クール〉

冷蔵庫で冷やすことでより美味しい夏だけのバトンドール。

〈〔ミルク〕クール〉

バターとチョコレートが重なりあうことで、艶のあるなめらかなくちあたりと、独特のコクのある味わいが生まれました。バターの風味豊かなプレッツェルとぴったりの贅沢な味わいです。

〈〔夕張メロン〕クール〉

夕張メロンの芳醇な香りとコクのある甘みがバターの風味豊かなプレッツェルとぴったりの贅沢な味わいです。

※各日数量限定販売です。

※配送はクール便でのみ受付け、お持ち帰りは品質保持のため保冷バッグ(有料)に入れた場合のみ受け付けております。

〔バトンドール〕〈ブランソルト〉

バターをたっぷり練り込んだ生地をじっくりと焼き上げたあと、澄ましバターとシュガーのシャワーをくぐらせて創り上げたバターリッチなプレッツェル。

バターと塩、小麦粉の素材が奏でる芳醇な香りと豊かな美味しさが生まれました。



スキンケア化粧品

うるおう肌環境を整える 保湿クレンジング

ジージー [ggエレジナ クレンジングミルク]

独自のうるおい成分「EAPグリコーゲン」を、世界で初めて、配合したスキンケアシリーズ「gg」から、多くのご要望をいただいていたメイク落としが、ついに発売になりました。エイジング世代の肌を考え、乳液の処方からヒントを得て作った、肌をいたわりつつしっかり落とす、ミルクタイプのクレンジングです。軽くなじませるだけで、きめや毛穴の奥からメイクを溶かし出し、落とすたびにうるおう肌環境に整えます。肌を洗い整えるクレンジングミルクにふさわしい、清々しく上品なすずらんの香りです。

【ご注文・お問い合わせ】

グリコ通販センター

(フリーダイヤル) 0120-0417-22

グリコダイレクトショップ

<http://www.glico-direct.jp/gg/>



会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
創立年月日 大正11年2月11日
資 本 金 7,773,681,654円
営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。
従 業 員 数 4,961名(連結)
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06)6477-8352
- 大阪梅田オフィス
〒530-0018
大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル
電話 (06)6130-6839
- 品川オフィス
〒108-0074
東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル
電話 (03)5488-8170
- 昭島オフィス
〒196-0021
東京都昭島市武蔵野2-14-1
電話 (042)544-2222

主な関係会社

グリコ栄養食品株式会社
アイクレオ株式会社
仙台グリコ株式会社
茨城グリコ株式会社
関東グリコ株式会社
三重グリコ株式会社
関西グリコ株式会社
鳥取グリコ株式会社
九州グリコ株式会社
グリコ千葉アイスクリーム株式会社
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
東北グリコ乳業株式会社
那須グリコ乳業株式会社
東京グリコ乳業株式会社
岐阜グリコ乳業株式会社
広島グリコ乳業株式会社
佐賀グリコ乳業株式会社
江栄情報システム株式会社
東北フローズン株式会社
関西フローズン株式会社

Thai Glico Co., Ltd.
Glico Frozen (Thailand) Co.,Ltd.
PT. Glico Indonesia
PT. Glico-Wings
上海江崎格力高食品有限公司
上海江崎格力高南奉食品有限公司
GLICO-HAITAI CO., LTD.
Generale Biscuit Glico France S.A.
Ezaki Glico USA CORP.

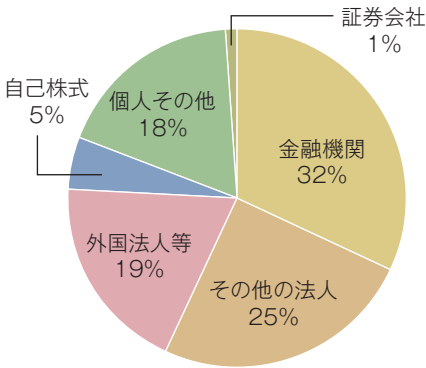
役員

代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	益田 哲生	監査役(常勤)	吉田 敏明
取締役	江崎 悦朗	取締役	加藤 隆俊	監査役(常勤)	安達 弘
取締役	安積 正裕	取締役	大石 佳能子	監査役	岩井 伸太郎
取締役	栗木 隆			監査役	宮本 又郎
				監査役	工藤 稔

株式の状況

会社が発行する株式の総数 270,000,000株
発行済株式総数 69,430,069株
株主数 16,567名

所有者別株式数比率

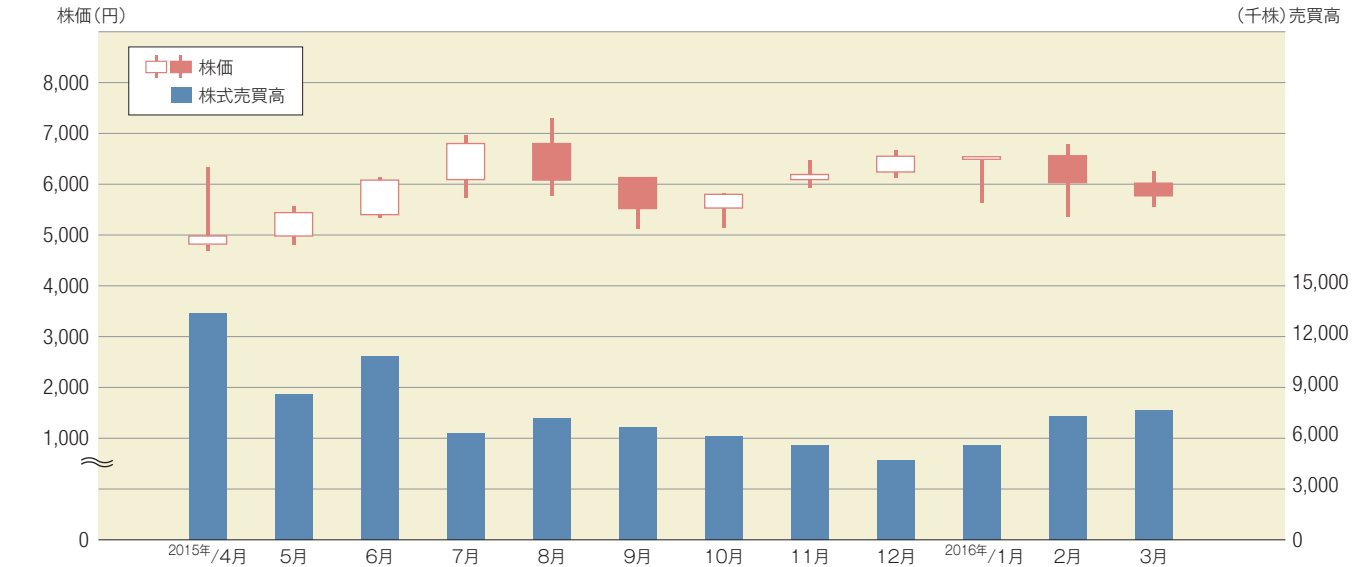


大株主 ※自己株除く

氏名又は名称	持株数(千株)
掏泉商事株式会社	4,131
大同生命保険株式会社	3,500
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)*	3,489
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,715
日清食品ホールディングス株式会社	2,100
佐賀県農業協同組合	1,943
大日本印刷株式会社	1,598
江崎グリコ共栄会	1,520
大正製薬ホールディングス株式会社	1,010
JP MORGAN CHASE BANK 385174	964

※信託型従業員持分会分の株式を含む

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 **0120-782-031**

インターネット ホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.glico.com/jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所

株主様 ご優待

株主の皆様の日ごろのご支援に対する感謝の御礼と致しまして、株主優待制度を実施しております。

2014年10月1日をもって株式併合および単元株式数の変更を実施いたしました。これに伴いまして、株主優待内容を変更いたしました。株主優待制度の概要は以下の通りであります。

- 贈呈時期 12月上旬ごろ年1回
- 贈呈基準 9月30日現在の株主様へ
※3月31日現在の株主様への優待はございません。
- 100株～499株
1,000円相当のグリコグループ製品を年1回
- 500株～999株
2,000円相当のグリコグループ製品を年1回
- 1,000株以上
4,000円相当のグリコグループ製品を年1回

株券電子化後の各種手続きについて

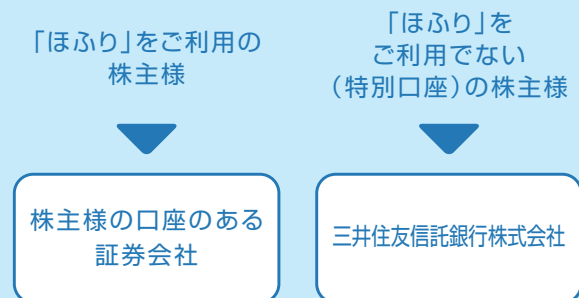
2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の单元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。

お届け先・ご照会先



※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にお願いいたします。

3 100株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1单元(100株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて100株となるように株式をお売りする、もしくは100株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先(0120-782-031)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.com/jp/>